学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　農業科

教科	農業	科目	果樹	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「果樹」（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，果実の生産と経営に必要な資質・能力の育成をめざします。
２・３年継続履修科目です。

2　学習の到達目標

（１）果実の生産と経営について，体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
（２）果実の生産と経営に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）果実の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	果実の生産と経営について，体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。	果実の生産と経営に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	果実の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	果樹の種類と果樹栽培の動向	○果樹栽培の動向 ○落果とその防止 ○病害虫防除 ○水分管理 ○果樹の生育と生理 ○果樹栽培と環境	a: 果樹栽培の動向や栽培管理に関する基礎的な知識を身に付け、病害虫防除などの重要性を理解している。 b: 果樹栽培の動向や栽培管理について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 果樹栽培の動向や栽培管理について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	果樹の栽培管理	○モモ:摘花・摘果・袋がけ・収穫 ○クリ:繁殖(接ぎ木)・施肥(実肥) ○ブドウ:新梢管理・ジベレリン処理・摘房・摘粒・収穫 ○獣害対策	a: 果樹栽培に関する基礎的な知識を身に付け、その技術を適切に活用している。 b: 果樹の種類や生育特性に応じた栽培管理について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 果樹の種類や生育特性とそれに応じた栽培管理について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習記録 単元考査	授業観察	授業観察 実習記録
後期	果樹の生育と栽培環境	○葉芽や花芽の分化と発達 ○果樹の結果習性 ○整枝・せん定 ○施設栽培と特殊栽培 ○果樹の経営とその改善	a: 果樹の結果習性や栽培管理に関する基礎的な知識を身に付け、整枝・せん定などの重要性を理解している。 b: 果樹の結果習性や経営などについて思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 果樹栽培や経営について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート 単元考査	発表態度	授業観察 実習記録
	果樹の栽培管理	○ブドウ:収穫・施肥(礼肥、元肥)・せん定 ○クリ:収穫・選別・貯蔵・せん定 ○モモ:せん定 ○果実の利用(加工) ○薬剤散布 ○1年間の整理とまとめ	a: 果樹栽培に関する基礎的な知識を身に付け、その技術を適切に活用している。 b: 果樹の種類や生育特性に応じた栽培管理について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 果樹の種類や生育特性とそれに応じた栽培管理について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	実習記録 単元考査	授業観察	授業観察 実習記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度